



長年あじさいを見守り続ける

遠藤 幸雄さん

3年もの時間をかけて 挿し木からあじさいの里へ植栽できる苗に

昭和58年当時は一造園業者として町から委託され、役場敷地内の木や花壇の手入れをしていました。特にあじさいが専門というわけではありませんでしたが、あじさい農道の植栽の整備を請け負ったことが始まりで、以来ずっとあじさいに携わっています。

あじさいの里内への補充用のあじさいの苗を育てるようになったのは、町から相談を受けたのがきっかけです。町では毎年数百もの株を購入しては補充をしていますが、あじさいキーパー運動の必要性も理解できます。補充できる苗は、約50cmに育った苗で、3年もの時間がかかります。その間は、水やり、肥料、植え替えなど、苗だからと言って手は抜けません。だからこそ多くの人に携わってほしいと思っています。

今、私が想うあじさいの里に適したあじさいは、ピンク色のアバンドンスという品種。手毬型のあじさいで、武永田用水路沿いに植えられています。現在、苗も育成中です。

ただ花を咲かせるだけでなく、 いかにきれいに咲かせるかにこだわりたい

あじさいの里親になったきっかけは、あじさいの里の区域内に住んでいるから。自宅から見える山と田んぼとあじさいの風景がすばらしく、この景観を守りたいと思いました。

自宅が松田方面からの観光客の玄関口にあり、自宅の周辺にあじさいを見た観光客の「わあーきれい」という声で、さらにその奥に広がるあじさいの里への期待感までが伝わってくるんです。その期待を裏切らず、喜んでほしい。こういう気持ちは、仕事で長年、観光や植物に携わってきた経験があったからかもしれません。ですからあじさいの里親も、プロ意識を持ってやっています。

現在は、あじさいの里親として里内に30株と自宅の敷地内の15株、全部で45株のあじさいを管理しています。管理で一番大変なのは草刈りです。2～3か月に1回は手入れを欠かしません。あじさいの状態を見ては、常に手入れをしています。ただ花を咲かせるだけでなく、いかにきれいに咲かせるかにこだわっています。



個人での管理株数が最も多い

澁谷 晴雄さん

あじさいキーパー



吉田島総合高校・緑化部も活動中

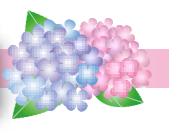
今年から県立吉田島総合高校の緑化部の生徒7人が、あじさいキーパーとしてあじさいの苗を育てる活動を始めています。

部長の伊豆浦友音さんは、「地域のために貢献できることがうれしい。根がちゃんとついてくれればいいな」と話してくれました。顧問の小野裕士先生は、「生徒が入学から卒業までの年数と同じようにあじさいも挿し木から植栽できるまで3年かかっていますが、苗が育つまでの時間を短縮する技術も研究したい」と意気込みをのぞかせていました。



小野先生(写真右)の指導のもと、あじさいの剪定枝を挿し木用に切り整えている生徒たち。
写真左から、三浦さん、小池さん、伊豆浦さん

あじさいの里親



あじさい研究会の皆さん
22人で活動しています。



日本製紙クレシア(株) 開成工場
事業者も登録。交替で世話をしています。



伊藤 雅恵さん
個人でも登録。毎月手入れをしています。

町内に植栽されているあじさいは、もちろんあじさいの里だけではありません。あじさいの町として、公共施設の花壇や公園などにも多くのあじさいが植えられています。これらのあじさいも同様に手入れが必要ですが、町だけでは日ごろの管理が行き届かないことがあります。

広がれ!あじさいの輪

町内に植栽されているあじさいは、もちろんあじさいの里だけではありません。あじさいの町として、公共施設の花壇や公園などにも多くのあじさいが植えられています。これらのあじさいも同様に手入れが必要ですが、町だけでは日ごろの管理が行き届かないことがあります。

挿し木を増やすあじさいの苗

里内を歩くと、残念なことにところどころに元気がないあじさいが目に見えます。春先の遅霜の影響などで、年々あじさいの数が減ってしまっているからです。町では、毎年あじさいの植え替えを続けていますが、必要とするあじさいの苗が不足しています。そこで、不足しているあじさいの苗を増やしていく運動を始めました。

あじさいの里親を募集します

澁谷さんの話にもあるように、あじさいの世話をするのは簡単なことではありません。しかし、自分で育てたあじさいがきれいに花を咲かせ、多くの人に見てもらいたいものがあります。一緒にあじさいの世話をしてみませんか。お手伝いいただける方は、産業振興課へお申し込みください。

あじさいを子どもに見せよう

現在、あじさいの里内のあじさいの管理は町を中心に行っていますが、町民の皆さんにより親しみをもちてもらうため、平成20年から「あじさいの里親」制度を設けています。